

Symantec™ Desktop and Laptop Option

README

リリース 7.5



本書に記載のソフトウェアは使用許諾契約のもと提供されており、契約条件の範囲内でのみ利用できます。

Symantec DLO 7.5 の文書バージョン

法的通知と登録商標

Copyright © 2013 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、NetBackup は、Symantec Corporation または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このシマンテック製品には、サードパーティ（「サードパーティプログラム」）の所有物であることを示す必要があるサードパーティソフトウェアが含まれている場合があります。サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。サードパーティプログラムについて詳しくは、この文書のサードパーティの商標登録の付属資料、またはこのシマンテック製品に含まれる TRIP ReadMe File を参照してください。

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。本文書のいかなる部分も、Symantec Corporation とライセンスから事前に文書による許諾を得ることなく、無断で複製することはできません。

本書は、「現状のまま」提供されるものであり、Symantec Corporation は、商品価値を有すること、お客様の特定の目的にかなうこと、権利を侵害していないことに対する暗黙的な保証を含む、明示的あるいは暗黙的な条件、表明、および保証すべてから免責されるものとします。ただし、これらの免責が法的に無効であるとされる場合を除きます。Symantec Corporation およびその関連会社は、本書の提供、パフォーマンスまたは使用に関連する付随的または間接的損害に対して、一切責任を負わないものとします。Symantec は事前の通知なく本書を変更する権利を留保します。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Rights in Commercial Computer Software or Commercial Computer Software Documentation」、その他の後継規則の規定により制限権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示、開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Symantec Corporation

350 Ellis Street

Mountain View, CA 94043

<http://www.symantec.com/ja/jp/>

テクニカルサポート

Symantec テクニカルサポートは、グローバルにサポートセンターを展開しています。テクニカルサポートの主な役割は、製品の特性と機能に関する具体的な問い合わせに対応することです。テクニカルサポートグループは、当社のオンラインナレッジベースの内容作成も行っています。テクニカルサポートグループは、Symantec 内の他部門とも協働して適時にお問い合わせに回答します。たとえば、アラートサービスやウイルス定義更新の提供に関しては、テクニカルサポートグループが製品エンジニアリングおよび Symantec セキュリティ対応と協力して対応します。

Symantec が提供しているメンテナンスサービスには次のようなものがあります。

- あらゆる規模の組織に適したサービスボリュームを柔軟に提供することが可能な各種サポートオプション
- 迅速な対応と最新の情報を提供する、電話および Web ベースのサポート
- 自動ソフトウェアアップグレード保護を提供するアップグレード保障
- 24 時間 365 日利用可能なグローバルサポート
- アカウント管理サービスなどの高度な機能

Symantec のメンテナンスプログラムについては、次の URL の Web サイトをご確認ください。

http://www.symantec.com/business/support/index?page=home&locale=ja_JP

テクニカルサポートへの問い合わせ

有効なメンテナンス契約をお持ちのお客様は、次の URL でテクニカルサポート情報にアクセスできます。

http://www.symantec.com/business/support/index?page=home&locale=ja_JP

テクニカルサポートに問い合わせる前に、製品文書に記載されているシステム要件が満たされていることを確認してください。また、問題を再現する必要がある場合には、問題が発生したコンピュータを利用できる状況である必要があります。

テクニカルサポートに問い合わせる際は、下記の情報を用意しておいてください。

- 製品リリースレベル
- ハードウェア情報
- 利用可能なメモリ、ディスク領域、NIC 情報
- オペレーティングシステム
- バージョンとパッチレベル
- ネットワークトポロジ
- ルータ、ゲートウェイ、IP アドレス情報
- 問題の概要
- エラーメッセージとログファイル
- Symantec に問い合わせる前に行ったトラブルシューティング
- 最近行ったソフトウェア構成の変更やネットワークの変更

ライセンスと登録

登録やライセンスキーが必要な Symantec 製品の場合は、次の URL の当社テクニカルサポート Web ページにアクセスしてください。http://www.symantec.com/business/support/index?page=home&locale=ja_JP

カスタマーサービス

カスタマーサービス情報は次の URL から確認できます。

http://www.symantec.com/business/support/index?page=home&locale=ja_JP

カスタマーサービスは、次に示す種類の問題のサポートを行います。

- 製品ライセンスまたは直列化に関する質問
- 住所や名前の変更など、製品登録の更新
- 一般的な製品情報 (機能、利用可能な言語、ローカルの販売業者)
- 製品の更新とアップグレードに関する最新情報
- アップグレード保証およびメンテナンス契約に関する情報
- Symantec 購買プログラムに関する情報
- Symantec のテクニカルサポートオプションに関するアドバイス
- ご購入前の技術以外の質問
- CD-ROM またはマニュアルに関する問題

メンテナンス契約のリソース

既存メンテナンス契約に関して Symantec に問い合わせる場合は、下記に示す地域担当のメンテナンス契約管理チームにお問い合わせください。

アジア太平洋と日本	customercare_apac@symantec.com
欧州、中東、アフリカ	customercare_emean@symantec.com
北米と中南米	supportsolutions@symantec.com

その他のエンタープライズサービス

Symantec は、Symantec 製品への投資効果を最大化し、お客様が積極的に事業リスクを管理できるようお客様の知識、専門性、グローバルな知見を伸ばすための包括的なサービスを提供しています。

利用可能なエンタープライズサービスには次のようなものがあります。

Symantec 早期警告ソリューション	これらのソリューションは、サイバー攻撃の早期警告、包括的な脅威分析、攻撃の予防対策を提供するものです。
管理セキュリティサービス	これらのサービスでは、セキュリティデバイスやイベントの管理と監視の負担を取り除き、実際の脅威に確実かつ迅速に対応することができます。
コンサルティングサービス	Symantec コンサルティングサービスでは、Symantec および信頼できる Symantec パートナーがオンサイトで専門的技術を提供します。Symantec コンサルティングサービスには、評価、デザイン、実装、監視、管理機能といった、プリパッケージのカスタマイズ可能な各種オプションが含まれています。それぞれ、お客様の IT リソースの整合性と可用性の確立と維持に重点を置いた機能です。
教育サービス	教育サービスでは、様々な技術研修、セキュリティ教育、セキュリティ認証、認知コミュニケーションプログラムを提供しています。

エンタープライズサービスの詳細については、次の URL の当社 Web サイトでご確認ください。

<http://www.symantec.com/ja/jp/>

サイトのインデックスから国と言語を選択してください。

目次

テクニカルサポート	3
テクニカルサポートへの問い合わせ	3
ライセンスと登録	4
カスタマーサービス	4
メンテナンス契約のリソース	4
その他のエンタープライズサービス	5
DLO 7.5の新機能	7
グローバルなソース側での重複排除	7
Windows 8 Desktop および Windows Server 2012 のサポート	7
SQL Server 2012 のサポート	7
DLO アップグレードのサポート	8
Lotus Notes.....	8
Log Gather ユーティリティ	8
保留中のユーザーを削除するコマンドラインオプション	8
BitLocker のサポート	8
プラットフォーム互換性マトリックス	8
Symantec DLO 7.5 のダウンロード	8
Symantec DLO 7.5 のインストール	9
リモート SQL サーバーの NetBackup DLO データベースのアップグレード.....	9
既知の問題	9
ET 2821098	9
ET 2876260	9
ET 2896052	9
ET 2908119	9
トラブルシューティングのヒント	10
エラー 1321	10
VSS による PST バックアップ	10
Windows Vista におけるディレクトリ構造の変更.....	10
DLO サービスの開始と停止.....	11
解決済みの問題	11
DLO コマンドラインインターフェース管理ツール	12

DLO 7.5 の新機能

Symantec DLO 7.5 は、重複排除機能を備えた統合バックアップソリューションです。

ここでは、このリリースに搭載されている新機能について簡単に紹介します。

DLO 7.5 の新機能は次の通りです。

- グローバルなソース側での重複排除
- Windows 8 Desktop および Windows Server 2012 のサポート
- SQL Server 2012 のサポート
- Lotus Notes 8.5.3 のサポート
- Log Gather ユーティリティ
- 保留中のユーザーを削除するコマンドラインオプション

グローバルなソース側での重複排除

DLO 7.5 には、重複排除されたバックアップのサポートが追加されました。

重複排除の方法として、次の 2 つがサポートされています。

ファイルのインテリジェント重複排除

最初の段階でファイル全体の重複を排除します。つまり、ファイルの最初のバックアップリビジョンにおいて重複排除を実行します。

ファイルが変更されると、そのファイルのバックアップモードは「Dedupe モード」から「差分モード」に自動的に変わります。つまり、特定のコンピュータ上にあるバックアップファイルの 2 回目のリビジョンから差分が適用されます。

内容を認識した PST の重複排除

添付ファイルのグローバルシングルインスタンス (SIS) は、内容を認識した PST の重複排除を使用して行われます。

この機能は、ネットワーク使用率の改善に役立ち、記憶域の所要量を最適化します。詳細については、『Symantec Desktop and Laptop Option 管理者ガイド』の「Dedupe サーバーの設定」を参照してください。

Windows 8 Desktop および Windows Server 2012 のサポート

- DLO Agent では Windows 8 までサポートを拡張しました。
- DLO Administration Server では Windows Server 2012 までサポートを拡張しました。

SQL Server 2012 のサポート

DLO では SQL Server 2012 までサポートを拡張しました。

DLO アップグレードのサポート

DLO では、次に挙げる以前のバージョンからのアップグレードがサポートされます。

- Symantec DLO 7.0
- BackupExec-DLO 2010 R3
- NetBackup - DLO 6.1 MP7

DLO (NetBackup DLO または BackupExec DLO) の上記以外の以前のリリースを使用しているユーザーについては、段階的なアップグレードがサポートされます。つまり、DLO の既存のバージョンをまず Symantec DLO 7.0 にアップグレードし、それをさらに Symantec DLO 7.5 にアップグレードする必要があります。

Lotus Notes

DLO は、Lotus Notes バージョン 8.5.3 をサポートしています。

Log Gather ユーティリティ

Symantec DLO Gather ツールを使用すると、さまざまな製品インストールパス、ログパス、レジストリエクスポート、オペレーティングシステム、およびインストールされているアプリケーションからログを収集できます。詳細については、『Symantec Desktop and Laptop Option 管理者ガイド』の「Symantec DLO Log Gather ツール」を参照してください。

保留中のユーザーを削除するコマンドラインオプション

DLO には、保留中のユーザーを DLO データベースから削除するコマンドラインオプションが追加されました。詳細については、『Symantec Desktop and Laptop Option 管理者ガイド』の「-DeletePendingUsers コマンド」を参照してください。

BitLocker のサポート

DLO は、Windows BitLocker Drive Encryption を実行するボリュームをサポートしています。

プラットフォーム互換性マトリックス

サポート対象のサーバーオペレーティングシステム、エージェントオペレーティングシステム、Office Suites、SQL Server、クラスタプラットフォームの互換性マトリックスについては、『Symantec Desktop and Laptop Option Compatibility Matrix』を参照してください。

Symantec DLO 7.5 のダウンロード

DLO 7.5 をダウンロードするには、次の手順に従います。

1. ctor 以下の対象ファイルを一時ディレクトリにダウンロードします。

Symantec_DLO_75_x64.zip

Symantec_DLO_75_x86.zip

DLODBRegcreateU.zip(「リモート DLO データベースのインストール」オプションを使用した NetBackup DLO MP4、MP5A、MP6、MP7 のアップグレードに必要です。)

2. ファイルを展開するには、.zip ファイルをダブルクリックします。

これにより、x64.README、x86.README および setup.exe を含む多くのファイルを作成しやすくなります。

Symantec DLO 7.5 のインストール

新しい DLO 管理サーバーおよび必要な Symantec DLO 7.5 コンポーネントのインストールにはインストールパッケージを使用します。手順については、『Symantec Desktop and Laptop Option 管理者ガイド』を参照してください。

リモート SQL サーバーの NetBackup DLO データベースのアップグレード

DLO 6.1 MP4、MP5、MP5A、MP6、または MP7 がインストールされている場合、およびリモート SQL サーバーに DLO データベースがインストールされている場合は、『Symantec Desktop and Laptop Option 管理者ガイド』の「リモート SQL サーバーの DLO データベースのアップグレード」のセクションを参照してください。

既知の問題

ここでは、DLO 7.5 における既知の問題について説明します。問題は ET 番号 (ソフトウェアバグ追跡番号) 順に記載しています。

ET 2821098

説明 : 復元先にスペースが含まれていると緊急復元が行われません。

回避方法 : スペースが含まれる復元先フォルダに緊急復元を行うには、

DOS で、二重引用符で復元パスを囲みます。

例 : `DLOCommandu -EmergencyRestore "%Compl%StorageLocation%Domain1-User1" -W "Welcome123" -AP "%172.28.16.159%New Folder"`

ET 2876260

説明 : BitLocker ドライブのロック解除後すぐに Desktop Agent がファイルをバックアップしない。

回避方法 : BitLocker ドライブのロック解除後に、Desktop Agent を更新して BitLocker 暗号化ドライブに行った変更を有効にします。

ET 2896052

説明 : IPv6 環境のリモート DB セットアップで、管理サーバー上のコマンドライン操作が失敗する。

回避方法 : リモートデータベースマシンのホスト名を提供し、`DLOCommandu.exe -C` を実行します。

ET 2908119

説明：DLO 管理サーバーのパスワードを変更すると Mindtree StoreSmart Dedupe サーバーのサービスが停止する。

回避方法：[スタート] > [ファイル名を指定して実行] をクリックし、services.msc を入力して、Mindtree StoreSmart Dedupe サーバーサービスのパスワードを手動更新します。

トラブルシューティングのヒント

ここでは、アプリケーション使用時に起こる可能性のあるいくつかの問題について説明しています。問題解決のための分かりやすい説明やヒントを記載しています。

エラー 1321

DLO インストーラに次のエラーメッセージが表示される。

「エラー 1321。インストーラに、C:\ProgramFiles\Symantec\Symantec DLO\Data\DLO.mdf のファイルを修正する権限がありません。」

説明

このエラーは、DLO サーバーをアンインストールしてから SQL Server 2005 データベースを使用して同じ場所に再インストールしようとした場合に発生します。

DLO サーバーをアンインストールしても、データベースファイル (DLO.mdf と DLO_log.ldf) は削除されません。DLO サーバーを再インストールしようとする、DLO インストーラは新しいバージョンをインストールせずに古いデータベースファイルを使用します。これらのファイルを使用するには、完全な権限が必要になります。

一般的に、管理者はこれらのファイルを使用する完全な権限を持っています。ただし、それでもエラーは発生する可能性があります。

解決策

各ファイルに以下の変更を行います。

1. ファイルを右クリックして [プロパティ] を選択します。
2. [セキュリティ] タブで、管理者グループに完全な権限を付与してください。

VSS による PST バックアップ

ユーザーに VSS 機能が有効化されているのに、DLO Agent で VSS を使用して PST ファイルのバックアップを行うことができない。

解決策

ユーザーのシステムでボリュームシャドウコピーサービスが有効化されていることを確認します。

VSS サービスが有効であれば、PST ファイルは FAT32 ドライブ上にある可能性があります。VSS 有効バックアップは FAT32 ファイルシステムではサポートされていません。

Windows Vista におけるディレクトリ構造の変更

Windows Vista および Windows Server 2008 をサポートしている Windows サーバーの Backup Exec のバージョンで、%SystemDrive%\Users フォルダにあるデータをバックアップするのに %SystemDrive%\Documents and Settings ジャンクションポイントを公差しない。

解決策

Microsoft Windows Vista および Microsoft Windows Server 2008 では、ユーザーデータのデフォルトの保存場所が変更されました。旧 Windows プラットフォームとの下位互換性を確保するため、これらのオペレーティングシステムでは特殊なジャンクションが作成されています。これらのジャンクションは、あるディレクトリから別のディレクトリへのアクセスをリダイレクトするものです。たとえば、%SystemDrive%\Documents and Settings は %SystemDrive%\Users を示すジャンクションです。詳細については

<http://www.symantec.com/business/support/index?page=content&id=TECH51361> をご確認ください。

DLO サービスの開始と停止

DLO には、すべてのサーバーコンポーネントサービスを開始と停止するための 2 つのユーティリティがあります。

下記のサービスは開始と停止が可能です。

- Symantec DLO 管理サービス
- Symantec DLO メンテナンスサービス
- SQL Server (DLO)
- SQL Server (Dedupe)
- Mindtree Storesmart Dedupe サービス

ユーティリティは次のインストール場所にあります。

C: \Program Files\Symantec\Symantec DLO

- すべてのサービスを開始する場合は DLOStartsvc.bat を実行します。
- すべてのサービスを停止する場合は DLOStopsvc.bat を実行します。

分散サーバーコンポーネントセットアップの場合は、次を行います。

DLO SQL サービスを停止する場合はこれらのサービスをリモートデータベースマシン上で、管理およびメンテナンスのサービスを停止する場合は対応するマシン上で実行します。

解決済みの問題

次に、Symantec DLO 7.5 の解決済みの問題を示します。

ET 番号	説明
2842454	Windows XP の 32 ビットマシンに SP3 がインストールされていない場合であっても、Desktop Agent のインストールはブロックされず一部の機能が作動しない場合がある。
2859653	Symantec DLO 7.5 のインストール中は、SQL サービスアカウントおよび DLO 管理者アカウントに別のクレデンシャルを提供すると、重複排除ストレージプールおよび重複排除ストレージロケーションを Dedupe サーバーに追加できない。
2851008	DLO サーバーおよび Desktop Agent が純粋な IPv6 ネットワークで通信できない。
2859826	重複排除ストレージロケーションの作成時に [ユーザー名] フィールドに特殊文字を含む名前 (例: dedupe_user) を入力すると、エラーメッセージが表示される。

ET 番号	説明
2856280	Desktop Agent を 7.5 にアップグレードしてから Desktop Agent を再度起動すると、Dedupe バックアップに失敗する。
2867606	Symantec DLO を BackupExec (BE) - 2012 がインストールされたサーバーにインストールできない。
2867597	デスクトップユーザーデータフォルダのリビジョン管理が 0 に設定されているデフォルトバックアップ選択肢では、DLO Agent 上でバックアップジョブが成功しない。
2872294	.url ファイルをバックアップしようとするエージェントがクラッシュする。
2865766	Windows 2003 x64 SP2 Server で Symantec DLO のインストールが失敗する。
2896554	スタガードセットアップでは、名前付き SQL インスタンスを使用して DB コンポーネントをインストールすると Dedupe サーバーや DLO 管理コンポーネントのインストールがブロックされる。
2855605	リモートおよび既存 DB セットアップにクラスタサポートがない。

DLO コマンドラインインターフェース管理ツール

DLO には、DLO サーバー操作を管理するためのコマンドラインシステムツールが用意されています。詳細については、『Symantec Desktop and Laptop Option 管理者ガイド』の「DLO コマンドラインインターフェース管理ツール」を参照してください。